

製造業

- ◇**パン**…原料、電気、ガス、石油製品、油脂等が7月から一斉に値上がりするので、対応に追われている。
- ◇**酒**…5月の課税移出数量は前年比96.6%と前年を下回っているが、純米酒は毎月増加傾向。清酒の消費動向から見ても、高品質で味の良い日本酒に期待が持てる。焼酎乙類は前年比91.9%。政府は輸出への取組みには積極性があり「日本産酒類の輸出促進連絡会議」が新設され3月12日の初会合を契機に、5月31日には関東甲信越の連絡会議を開催、中央・地方との連携を図っている。4月から販路開拓支援事業をスタートさせ新規需要開発に取り組んでいる。
- ◇**納豆**…売上・販売価格等については落ち着きが見られるが、問題は原材料、電気、ボイラー燃料の高騰。売上は不変・経費は上昇で、利益を出せる企業はオートメーション装置を導入できる大手メーカーに限られつつある。
- ◇**菓子**…梅雨に入り天候に恵まれず、また気温差もあり、消費はあん物・涼菓と交互に求め、景況は保合で推移。菓子素材の値上げが予定され頭の痛いところ。
- ◇**繊維製品(袋物)**…組合員の中でも忙しい会社とそうでない会社が出ている様子。この時期は全体的に仕事量が少ないので、あまり心配はしていない。
- ◇**繊維製品(縫製)**…例年並みの受注量を消化。夏(7、8、9月)は需要が少なくなるので資金繰りが不安。
- ◇**木材**…住宅着工は消費税増税前の駆け込み需要で動きが見られるが、国産材製品の荷動きからは需要の台頭は感じられない。主要な需要家である大工・工務店の受注が依然低調なのに加え、大手ハウスメーカーから引き合いが減少したことも影響している。木材利用ポイント制度が7月から運用開始されるが建て主の要望次第と様子見のところ。
- ◇**プレカット**…前月同様忙しく、上棟が重なり外注加工で対応した。資材の再値上げを懸念。
- ◇**段ボール**…月初めは仕事量があったが、月半ばから急激に量が減り前年と同じか少し足りない所があった。
- ◇**焼物**…政府の景気対策の波及効果が見えず、地方の中小企業の置かれている現状は大変厳しい。製造・販売業は作っても売れない、仕入れても売

ないといった状況が続いており、目に見える形での景気対策を求めている。

- ◇**鍍金**…6月の受注・収益状況は前月同様5~10%減。建築関係部品は比較的好調だったが、自動車・建機・家電関係の仕事は低調。めっき加工単価、原材料とも前年同程度。当業界へのアベノミクス効果は数ヶ月先と思われる。
- ◇**電化機器**…当月における生産高は、対前年同月比で△110百万円(△11.65%)となる835百万円。前月比では△36百万円(△4.13%)。自動車関連部門においては期首から生産高が毎月微減、家電部門も昨年度第4四半期から2億円超の生産高を計上してきたが、当月は185百万円と減産となり経営環境は依然として厳しい。
- ◇**自動車部品**…売上高は依然横這いであるが、減少傾向にやや歯止めが掛った感じである。
- ◇**工業団地(農機部品)**…組合員7社中6社が売上増で、全体では前年同月比131%。単月では3割増しの生産量となったが、納品先が上期の出勤日を3日増やし、下期は休日を3日増やす生産調整があり、生産動向の振れ幅に注意をしておく必要がある。納品先のメーカーでの販売動向は全世界では順調、海外生産にもより一層力が入る可能性があり、メーカーの国内生産ではアクセルと急ブレーキに注意が必要である。

非製造業

- ◇**セメント卸**…袋セメントの出荷袋数は前年同月比約25%の減少。4月以降、建設工事が急減、震災特需もおさまり減少傾向にある。7月からの盛り返しに期待している。
- ◇**水産卸**…精算所取扱高は前年同月比5.8%の減。冷蔵庫部門は電力料金単価のアップ、燃料費調整単価の上昇によりコスト面で大きな影響を受けている。
- ◇**食品卸売**…天候に恵まれ野菜に関しては昨年並みの入荷量で若干の単価高。果実に関しては入荷量・単価ともに昨年並みに推移した。まだまだ消費の冷え込みが厳しく、特に果実の販売に苦慮している。
- ◇**県南地区卸売**…食肉加工、業務用食材等を取り扱う企業はやや好転。日用品雑貨等を取り扱う企業は厳しい状況。問題は円安による仕入れ単価の上昇にあり、収益を悪化させている。
- ◇**県北地区共同店舗**…不振店舗が増え、妙計奇策が

無ければ大規模SCに太刀打ちできず依然厳しい状況。

- ◇**県央地区共同店舗**…生鮮食品の売上確保に苦労。売上減少より客数減少の方が大きい。
- ◇**県南地区共同店舗**…近郊にオープンした超大型店の影響か、3月のオープン時から売上の減少が続いており、当月も回復は見られなかった。
- ◇**家電**…ボーナス支給月で、売上は前月比70~80%増加に転じたが、前年同月比では8割程度。23年6月(地デジ化1か月前)比では5割強程度の売上に留まっている。梅雨で洗濯機・エアコン等の売上が目立つ。
- ◇**中古自動車**…オークションの出品台数は対前年比5%以上のダウンで厳しいが、反面、成約台数は対前年比で10%以上の伸びを示し、結果としてオークション手数料収入も好転している。しかし現場小売店は依然厳しい状況である。
- ◇**石油**…ガソリンの販売価格は昨年同月比で8円値上がり。販売数量の減少により依然として安値販売競争が続いているため収益の改善は見られず、厳しい経営環境となっている。このため廃業・休業等に追い込まれる組合員が増加。
- ◇**ホテル旅館**…円安、原油高の影響で燃料等の取引条件が厳しく、収益は悪化。県北の一部の地域を除いてビジネス客が増えているが、大型チェーンホテルの進出により既存の施設が苦戦している。
- ◇**自動車整備**…組合員事業場の車両在庫状況指数である継続検査台数(持込検査)の対前年同月比普通車95.6%、軽自動車は98.8%と微減であった。
- ◇**総合建設**…公共工事の入札が活発化。道路の舗装復旧工事が発注されるが量的にはさほどではない。今後、大型の建築工事が発注されるが地元建設業者がどれだけ受注できるかが課題。

- ◇**管工事**…前月に比べ売上は増加となったが、前月が例年より減少気味だったため、売上増が景気向上とは言えない。
- ◇**交通安全施設**…経済対策の補正予算分の公共工事が発注され始めた。
- ◇**電気工事**…ハウスメーカー等による太陽光施工が多く、人員不足が続いている。
- ◇**県北地区運輸**…顧客物量は、依然として全体的に昨年を下回る出荷物量となっている。円安の影響で燃料価格も乱高下するも、高値の傾向となっており、収益を圧迫している。
- ◇**県央地区運輸**…定期の仕事はあるが、フリーの仕事は少ない。飲料水(ビール・水)関係は良好。後半はお中元配達が始まる。軽油は高止まりが続いている。

H25.6月の業界天気図

業種	指数	売上		収益状況	
		前年同月比		前年同月比	
食料品業			▲ 50.0		▲ 50.0
その他製造業			▲ 30.0		▲ 45.0
卸売業			▲ 50.0		▲ 25.0
小売業(商店街を含む)			▲ 36.4		▲ 18.2
サービス業			50.0		▲ 50.0
建設業			50.0		▲ 25.0
運輸業			▲ 100.0		▲ 100.0
全体			▲ 28.6		▲ 38.8

【天気図の見方】県内情報連絡員から毎月いただいている情報連絡票の景況項目について、「増加」(又は、「好転」)業種割合から「減少」(又は「悪化」)業種割合を差し引いた値(D.I値)をもとに作成しています。その基準は、下図のとおりです。

30以上	10~30未満	10未満~▲10	▲10超~▲30未満	▲30以上

※表の中の数値はD.I値

正規・非正規社員の研修に、奨励金が支給されます!

介護施設、運輸業、情報通信業、産業廃棄物処理業など、幅広く活用できます!



正規(非正規)雇用労働者育成支援奨励金

- ・介護職員研修など、各業種に特化した研修
- ・情報セキュリティのシステム導入研修
- ・ISO(品質・環境マネジメントシステム)研修
- ・道路交通安全の仕組み導入及び社員研修

中小企業様の支援実績は、県内トップクラスの

500社以上!!!

お気軽にお問い合わせ下さい



株式会社マネジメントセンター

茨城県水戸市住吉町97-2 MSKビル2F
TEL029-246-4671 FAX029-246-4672
URL <http://www.isommc.com>
E-mail info@isommc.com